

公明*こうち

市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党
 住所／〒780-0870
 高知市本町5丁目1番45号
 TEL:088-823-9403
 FAX:088-871-2485

 2021年(令和3年)5月1日 第51号
 高知市議会  公明党

第483回
 高知市議会
 定例会

新年度の市政課題に鋭く言及!!



寺内 憲資 議員

◆寺内憲資議員は、次のとおり代表質問を行いました。

◆桂浜公園における許認可事務について

現在、桂浜公園は、令和4年度のリニューアルを旨とし整備が進められています。が、既得権益化した既存の審査基準による許認可事務を続ける限り活性化に繋がらないことから、許認可事務の見直しを市長に求めたところ、商工観光部長から、桂浜が新しく生まれ変わっていくためには、審査基準や方針が公平性を担保しながら桂浜の活性化に向けた内容となっていることが重要と考えており、審査基準等の改正を行っていくとの前向きな答弁がありました。

◆国民宿舎桂浜荘の経営の見直しについて
 経営赤字を丸抱えする桂浜荘の経営のあり方について見直しを市長に求めたところ、コロナ感染拡大により、経営の見通しが不透明なことからも、一時的に休館し、経営のあり方を見直す旨の答弁がありました。

◆昇格試験の導入について
 公明党は頑張っている職員が報われる人事制度改革、特に管理職に昇格する試験制度の導入を要求し続けており、これまで市長からは平成28年4月から導入するとの答弁があった後も導入されないままであったことから、再度、市長に対し昇格試験の導入を求めました。

市長からは、高知市にとって最適な制度となるように、職員組合とも早期に協議を進め、令和3年度中に最終的な制度設計を行い、令和4年度から実施することができるよう取組んでいくとの導入に向けた明確な答弁がありました。

(詳細については、寺内のりよしHP参照)



山根 堂宏 議員

◆市長の政治姿勢について

公務員制度で成果や成績主義などを反映するため、人材の円滑な新陳代謝と効率的で弾力的な人事管理も求められ、民間人の採用や官民交流の促進などに取組まれています。本市における職員の人事評価の概要と人事配置、職員力の向上について伺いました。

◆れんげいこうち広域都市圏の推進に関して

高知市は全国初となる県下全市町村を圏域として、5カ年の事業を推進してきました。3カ年が経過し、分野ごとや各事業のKPIの実績値や進捗状況の総括を伺いました。

◆市有墓地・納骨堂の管理
 近年、無縁墓の増加や墓地管理について全国的な社会問題になっており、本市の管理する市有墓地と納骨堂の早急な管理計画の策定と、適正な運営管理を提言しました。

◆防潮流整備事業について

防潮流整備事業は、保安林の保全と不法占有物の設置を防ぐ目的の事業であり、現状での墳墓と建造物の不法占用の実態と、今後の課題解決に向けた方針を伺いました。



西森 美和 議員

◆ワクチン接種について

昨年の10万円の給付金事務では、事務量の変化に即応して体制を強化できなかった教訓があります。ワクチン接種の体制整備では、健康福祉部は行政内部だけではなく、対外的に手を打ちながら、感染者が増加すれば同時進行で検査や感染者の状況把握に努めなくてはなりません。さらに複数のワクチンが混在する状況も想定されるため、業務量がパンクしてから建て増しの体制を整えるのでは間に合わない」と指摘し、総力を挙げた組織構築を求めました。

岡崎市長からはかかりつけ医を中心に、高齢者施設等の入所者には巡回接種も組み合わせながら、一般の方への接種が始まれば教育現場や企業とも調整するなど円滑な接種体制の確保にむけ万全を期していくとの答弁があり、中澤副市長からは総合的なマネジメント機能の確立が不可欠であるため、全庁的な人員調整のもとアウトソーシングを組み合わせるなど官民一体で、円滑な体制の構築を進めていくとの答弁がありました。

◆切れ目のない子育て支援

公明党では、妊娠・出産・育児と切れ目のない子育て支援を行うために、国と地方が連携し「日本版ネウボラ」構想のもと施策を展開しています。高知市でも、宿泊型の産後ケア事業のスタートから、令和3年度には、妊婦の全数面接、多胎家庭支援事業、「北部子育て世代包括支援センター」の開設などが予定されています。



高木 妙 議員

◆防災対策

高知県が策定する「事前復興まちづくり計画策定指針」が本市の発災後の復興にどう影響するのか、事前復興対策事業が可能となるのかとの視点で質問を行いました。

これらの答弁から、戦略的な土地利用の取組むことが大切で、国の政策においても事前復興のメニューが必要だと認識を強く持ちました。

(詳細は高木妙HP参照)

クーポン
販売所

高知市 GoTo理美容クーポン が始まります。

理美容クーポン5,000円分を 3,000円でget!

こちらが
目印

クーポンを活用して
理美容店を
応援しましょう!

- 利用期間
2021年 4月15日から
12月31日まで
- 利用可能店舗
高知市内の対象理容店・美容店



高知市内のサニーマート各店 (清水店、四万十店、FC加盟店は除く)

- サニーアクセスの店
- とさのさと御座店
- 伊野店
- 高須店
- 神田店
- サニーアクセス南国店
- 瀬戸店
- 土佐道路東店
- 六泉寺店
- あその店
- 中万々店
- 高岡店
- 山手店
- 毎日屋あさくらセンター店
- 毎日屋あたご店
- 毎日屋土佐道路店
- 毎日屋さんばし店
- 毎日屋大橋通り店

高知市内のTSUTAYA全店 (高知 萬屋書店を除く)

- 土佐道路店
- 中万々店
- 御座店
- 潮江店
- 須崎店
- 高岡店
- 安芸店
- 野市店
- いの店
- 南国店
- 四万十店

高知市内のエースワン全店

- 秦泉寺店
- 高知駅前店
- 十津店
- 御座店
- 神田店
- 横内店
- 朝倉店
- 潮江店

高知市内のエーマックス全店

- 赤岡店
- 一宮店
- 横浜店

「生理の貧困」について 岡崎市長と意見交換

令和3年3月26日、高知市議会公明党は、社会問題になっている「生理の貧困」について岡崎市長と意見交換を行い、「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」を行いました。



●「生理の貧困」とは
生理用品を買うお金がない、または利用できない環境にあることを言います。これは発展途上国のみならず、格差が広がっている先進国でも問題になっており、日本においてもコロナ感染症の影響で、収入が減ってしまった家庭や学生にとって、とても重要な問題となっています。

多胎児 (ふたご以上) の ご家庭を支援します!!

支援を希望するご家庭に育児サポーターを派遣し、日常の育児・家事に関する介助や外出時の補助を行います。

※母子健康手帳が交付されたご家庭には母子保健課より案内があります。

- (1)対象者
高知市内に住民票のある多胎家庭(妊娠期から1歳未満まで)
- (2)支援内容
 - 育児・家事支援：授乳介助、沐浴介助、掃除、洗濯、買物付添い、母親が家事を行う間の多胎児・兄姉の見守りなど
 - 外出支援：予防接種や健診時の外出支援、介助
 - 相談支援
- (3)利用料
 - 無料(年間1家庭30時間まで)
- (4)お問い合わせ・予約先
高知市母子保健課
088-855-7795



「高知県自転車乗車者の安全で適切な利用の促進に関する条例」が施行されて早くも、2年が過ぎた。この条例には、18歳以下の児童・生徒が自転車で乗る時は、保護者がヘルメットを着用させなければならないと謳われている。それを踏まえて本市も令和元年より3年間、自転車用ヘルメット購入助成事業が実施されている。そのうえ登下校時のヘルメット着用推進に係る協議会も設置されたが、いまだにヘルメットの着用率は1割に満たない。

昨年の1月から12月の一年間に高知市内での児童・生徒による自転車事故が82件発生している。自転車は、大人から子どもまでが利用している手軽な乗り物であるが、事故に巻き込まれると重大な事故につながる乗り物であることを自覚したい。

子どもたちの命を守るために、自転車乗車時にはヘルメットの着用を定着させるための流れを止めてはいけない。わたしたち一人ひとりが今一度命を守る取組を考える必要がある、今後も粘り強く、子どもたちの保護者や学校に声を届けて現状の打開策を見出していききたい。

(幸)